



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ジー・テイスト
 コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 稲角 好宣

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,190	2.3	15	37.0	42	67.1	46	
29年3月期第1四半期	6,334	3.8	25	77.4	25	81.6	93	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 46百万円 (%) 29年3月期第1四半期 93百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.24	
29年3月期第1四半期	0.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,005	9,852	46.8
29年3月期	21,396	9,993	46.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,826百万円 29年3月期 9,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.50	0.50
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,800	2.0	160	1.9	190	21.5	10		0.05
通期	26,400	1.3	700	10.9	730	17.1	180		0.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	197,051,738 株	29年3月期	197,051,738 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	5,710,283 株	29年3月期	5,710,066 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	191,341,599 株	29年3月期1Q	191,342,157 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2.平成30年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものといたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費の回復は足踏み状況にあり、先行き不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、人材不足による採用費等のコストの高騰や、消費者の節約志向・低価格志向の高まりなど、先行きは依然として厳しい状況が続くことが懸念されております。こうした中、当社グループでは、グループ全体としてQSCの強化を図り、さらに外食事業においては、安心、安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化と併せ、ブランド力が高い業態への業態転換、新規出店やFC加盟開発の強化に努めてまいりました。また、外食事業を中心に、店舗閉店に伴う店舗閉鎖損失、店舗閉鎖損失引当金繰入額、減損損失等を計上しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高61億90百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益15百万円（前年同期比37.0%減）、経常利益42百万円（前年同期比67.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失93百万円）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

なお、当社グループは従来、外食事業以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント別に業績を説明しておりましたが、前連結会計年度より「外食事業」と「教育事業」の2つを報告セグメントとして、セグメント情報を記載しております。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を当該報告セグメントの区分に基づき作成した数値で比較しております。

<外食事業>

外食事業全体で、引き続きQSCの徹底的な見直しを図り、改善の強化を進めてまいりました。

また、新規業態として、ヘルシー志向で注目されているラム肉をメインとした個室ジジスカン業態「虎ノ美羊」を首都圏に平成29年5月にオープンいたしました。「虎ノ美羊」では、無煙ロースターを用い、匂いを気にせずにご利用頂ける個室空間を用意し、取り扱うラム肉は、北海道産ワインラムや、オーストラリア産生ラムを美味しさを保つために新鮮なまま仕入れ、手切りにこだわるなど、幅広いお客様にご支持頂ける業態といたしました。

さらに、前連結会計年度に引き続き、好調業態である国産牛焼肉食べ放題「肉匠坂井」の出店や、ファーストフード業態・レストラン業態の「おむらいす亭」のフランチャイズ加盟店3店舗新規オープンなども行い、好調業態の積極的展開を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、外食事業では新規出店を1店舗（焼肉業態1店舗）及びフランチャイジーなどからの店舗買取り等による純増1店舗とし、店舗売却や、契約期間満了や不採算に伴う閉店等により9店舗減少いたしました結果、外食直営店舗355店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の外食事業における売上高は、57億30百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益2億33百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

<教育事業>

英会話事業では、前連結会計年度のCM効果の持続もあり、好調に推移をいたしました。引き続き、受講面のサポートの強化、生徒満足度の引上げに努め、安定した業績維持を行ってまいります。

また、学習塾事業に関しては、春期講習の売上が好調であったものの、生徒数は昨年並みに留まり、大きく業績を伸ばすまでには至りませんでした。平成29年7月以降の夏期講習に向け最大のパフォーマンスが発揮できるよう、お客様の満足度向上に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、教育106校舎と変動はございませんでしたが、以上のような施策を図ってまいりました結果、教育事業における売上高は、4億60百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益13百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、210億5百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3億90百万円減少いたしました。主な要因は、社債の償還による現金及び預金の減少によるものであります。

負債総額は、111億52百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2億50百万円減少いたしました。主な要因は、社債の償還によるものであります。

純資産額は、98億52百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億40百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,509,192	6,214,048
受取手形及び売掛金	369,096	353,877
商品及び製品	79,456	80,439
仕掛品	4,700	2,041
原材料及び貯蔵品	215,432	208,707
その他	1,003,976	943,223
貸倒引当金	△2,775	△3,289
流動資産合計	8,179,079	7,799,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,542,573	3,656,236
土地	4,241,205	4,208,471
その他（純額）	374,457	393,897
有形固定資産合計	8,158,236	8,258,605
無形固定資産		
のれん	45,085	39,961
その他	165,309	164,056
無形固定資産合計	210,395	204,017
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,979,982	3,947,440
その他	1,337,578	1,263,780
貸倒引当金	△469,040	△467,202
投資その他の資産合計	4,848,521	4,744,018
固定資産合計	13,217,153	13,206,642
資産合計	21,396,232	21,005,691
負債の部		
流動負債		
買掛金	775,429	654,448
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	362,663	387,713
1年内償還予定の社債	708,000	708,000
未払法人税等	62,974	15,177
引当金	90,170	44,967
資産除去債務	16,269	30,960
その他	2,222,501	2,438,105
流動負債合計	4,538,008	4,579,372
固定負債		
社債	2,434,000	2,164,000
新株予約権付社債	1,983,058	1,984,481
長期借入金	996,242	978,443
退職給付に係る負債	36,752	36,196
資産除去債務	825,057	822,096
その他	590,017	588,287
固定負債合計	6,865,127	6,573,505
負債合計	11,403,135	11,152,878

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,842,326	8,842,326
利益剰余金	1,843,364	1,701,136
自己株式	△817,391	△817,407
株主資本合計	9,968,299	9,826,054
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	24,797	26,757
純資産合計	9,993,097	9,852,812
負債純資産合計	21,396,232	21,005,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,334,186	6,190,923
売上原価	2,267,237	2,230,524
売上総利益	4,066,948	3,960,399
販売費及び一般管理費	4,041,762	3,944,534
営業利益	25,186	15,864
営業外収益		
受取利息	1,834	1,094
受取配当金	488	490
業務受託料	17,044	17,057
受取補償金	-	25,000
その他	27,381	17,529
営業外収益合計	46,748	61,172
営業外費用		
支払利息	7,221	7,482
貸倒引当金繰入額	11,271	115
支払手数料	15,000	15,126
その他	13,021	11,825
営業外費用合計	46,515	34,549
経常利益	25,420	42,486
特別利益		
固定資産売却益	-	525
新株予約権戻入益	-	902
特別利益合計	-	1,428
特別損失		
固定資産売却損	-	671
固定資産除却損	620	9,267
店舗閉鎖損失	15,931	960
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	11,462
減損損失	9,118	2,308
特別損失合計	25,670	24,670
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△250	19,243
法人税、住民税及び事業税	16,174	14,884
法人税等調整額	77,331	50,916
法人税等合計	93,505	65,800
四半期純損失(△)	△93,755	△46,557
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,755	△46,557

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△93,755	△46,557
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△93,755	△46,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,755	△46,557
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。